

近畿作物育種研究会第 188 回例会・公開シンポジウム 「ゲノムの理解は農学を変えられるか？」

日時: 令和元年 11 月 9 日(土)、13:00~16:20

場所: 龍谷大学大宮キャンパス「東巖(とうこう)」

シンポジウム委員長: 京都大学農学研究科 吉川貴徳

プログラム:

13:00~13:10 開会の辞

第1部

13:10~13:40 巨大ゲノム作物コムギへの挑戦~巨大ゲノムから有用情報をどの
ようにして抽出するべきか~

吉田 健太郎 (神戸大学)

13:40~14:10 野外トランスクリプトームから見るイネの環境応答

永野 惇 (龍谷大学)

14:10~14:30 休憩

第2部

14:30~15:00 “Galaxy/NAAC”を用いたゲノム情報解析のすゝめ

田中 剛 (農研機構)

15:00~15:30 イネ育種における遺伝的多様性を拡大するための2, 3の
アプローチ

山本 敏央 (岡山大学)

15:30~15:50 休憩

15:50~16:20 総合討論・閉会の辞

17:00~ 懇親会(清和館)